

2025 年 10 月 1 日

報道関係各位

バードウォッチングウィーク！（*11月1日～7日）

毎日 eBird に投稿しよう

（公財）日本野鳥の会（事務局：東京、会長：上田恵介、会員・サポーター数：約5万人）は、バードウォッチングウィーク<11月1日（土）～7日（金）>に、より多くの方に野鳥観察を楽しみ、世界規模の市民科学プロジェクト「eBird」に観察情報を寄せていただけるよう、「バードウォッチングウィーク！ 毎日 eBird に投稿しよう」キャンペーンを実施します。期間中にチェックリストを15件以上投稿した方、7日間毎日投稿した方には、記念品をプレゼントいたします（該当者多数の場合は抽選）。



Macaulay Library/© Yann Muzika

■eBird について

eBird（イーバード）は、米国・コーネル大学鳥類学研究室（Cornell Lab of Ornithology）が運営する世界最大の野鳥観察データベースであり、市民科学プロジェクトです。eBirdには世界中のバードウォッチャーから10億件を超える野鳥観察情報が寄せられ、蓄積されたデータは鳥類の調査研究や保全活動に活用されています。（公財）日本野鳥の会はコーネル大学鳥類学研究室と協働で、eBirdの日本語版を運営しています。

eBirdでは、バードウォッチングの記録をスマートフォンやPCから投稿してアーカイブできるほか、さまざまな検索機能で、見たい鳥が見られる場所や、人気のバードウォッチングスポット等を調べることができます。eBirdのユーザー数・投稿数は全世界で増加しており、2025年9月現在で110万人、チェックリストと呼ばれる観察リストの数は1億件を超えています。今回は、このチェックリストの数を増やし、より充実したデータベースにできるよう、毎日継続してeBirdに投稿することを呼びかけるキャンペーンを実施します。

■11月1日～7日はバードウォッチングウィーク。毎日 eBird に投稿しよう！

11月1日～7日はバードウォッチングウィークです。秋から冬にかけては木々の葉が落ち、鳥の姿を見つけやすくなります。ガン・カモ類など比較的大型の水鳥も渡ってくるので、バードウォッチングを楽しむにはよい機会です。家の周りや公園、身近な緑地や水辺で見られる野鳥を観察して、eBirdに投稿してみましょう。期間中にチェックリストを15件以上投稿した方、7日間毎日投稿した方には、抽選で素敵なプレゼントをさしあげます。また、キャンペーン後の11月8日には、コーネル大学鳥類学研究室・eBirdサイエンスチームのスタッフを講師に、eBirdのデータの活用方法を紹介するワークショップを行います。

【「バードウォッチングウィーク！ 毎日 eBird に投稿しよう」キャンペーンの概要】

●期間：2025 年 11 月 1 日（土）～7 日（金）（バードウォッチングウィーク）

●参加方法：期間中、いつでも好きな時間にバードウォッチングをして、見た鳥をアプリ「eBird モバイル」または eBird のウェブサイト (<https://ebird.org/home>) から投稿してください。

※初めて使う方は「これを読めばわかる！ eBird&Merlin の使い方」をご覧ください。

「これを読めばわかる！ eBird&Merlin の使い方」:

https://www.wbsj.org/nature/ebird/eBird_setting_guide.pdf

●参加賞：

①サントリー特別賞：期間中にチェックリストを 15 件以上投稿された方 10 名さま（該当者多数の場合は抽選）に、サントリーホールディングス株式会社提供の「ステンレス製真空タンブラー『クマタカ

<https://www.suntory.co.jp/eco/birds/encyclopedia/detail/1417.html>』（数内正幸イラスト）」をさしあげます。



協力：数内正幸美術館

②日本野鳥の会賞：11 月 1 日～7 日の 7 日間毎日チェックリストを投稿した方 10 名さま（該当者多数の場合は抽選）に、日本野鳥の会オリジナルグッズ「卓上カレンダー2026」と「今治タオルハンカチ・よるの野鳥」のセットをさしあげます。



【講座のご案内】

ワークショップ「世界最大の市民科学プロジェクト eBird のデータ解析と、保全・科学研究への活用」

●日時：2025 年 11 月 8 日（土） 13:30～16:40

●内容：コーネル大学鳥類学研究室の、eBird サイエンスチームのスタッフを講師に、eBird に蓄積されているデータの解析方法を紹介し、推定個体数マップ等を公開している「ステータス&トレンド」を例に、eBird のデータを、どのように科学研究や保全に活用できるかを紹介し、

●会場：立教大学池袋キャンパス DB01（14 号館地下教室）

●講師：Tom Auer 氏、Matt Strimas-Mackey 氏（コーネル大学鳥類学研究室 eBird サイエンスチーム）

●参加費：無料

●詳細・お申し込みはこちら <https://www.wbsj.org/activity/event/workshop-20251108/>

■eBird とは

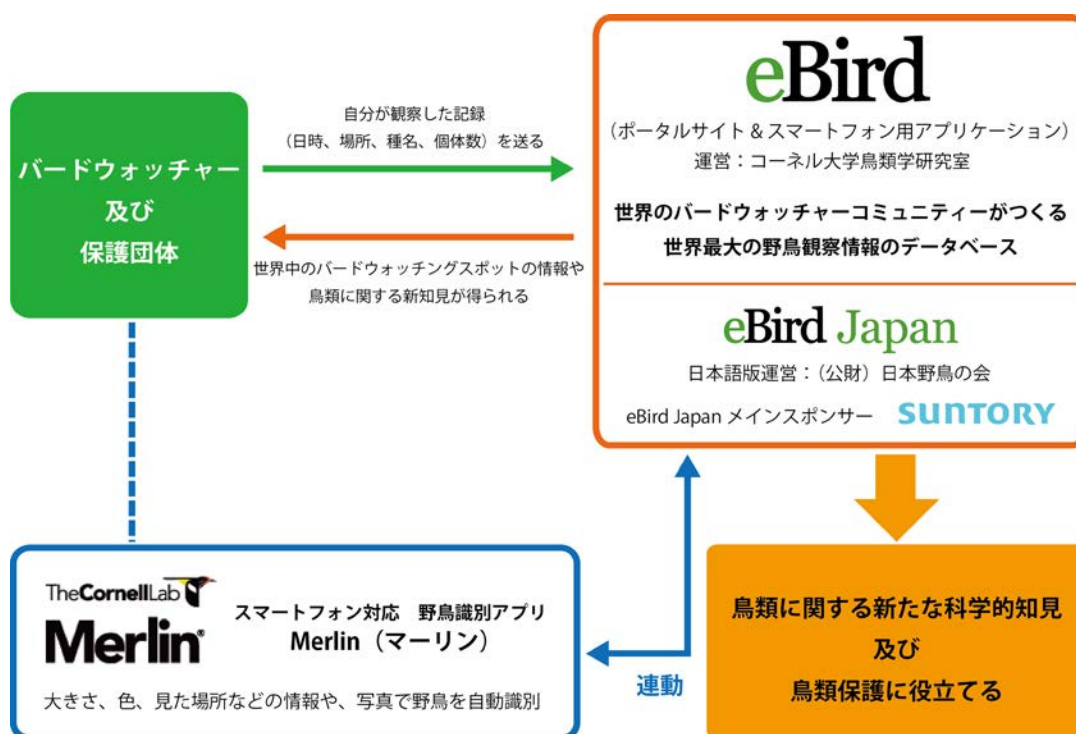
●世界規模の市民科学プロジェクト

eBird は、米国・コーネル大学鳥類学研究室が運営する、世界的な科学研究プロジェクトであり、誰でも参加できる市民科学プロジェクトです。世界中のバードウォッチャーの野鳥観察記録をオンラインで共有し、鳥類の研究や保護に役立てることを目的に、2002 年に開発されました。2025 年 9 月 1 日現在、eBird の利用者は世界で 110 万人、国内で 10,000 人を超え、日々増え続けています。

●2021 年 11 月より、日本語で利用可能に

eBird は、コーネル大学鳥類学研究室と、世界中のパートナー団体、何千人もの地域の専門家、何十万ものユーザーの協働で運営されています。2021 年 11 月にコーネル大学鳥類学研究室と（公財）日本野鳥の会により eBird の日本語版が公開され、eBird への投稿や検索、関連するアプリが日本語で利用できるようになりました。eBird の日本語版は、現在、サントリーホールディングス株式会社（メインスポンサー）と、カールツァイス株式会社（協賛）のご支援を得て、（公財）日本野鳥の会が運営しています。

eBird は多言語に対応しており、世界中で利用できます。また、eBird に蓄積されたデータは、調査研究や教育活動、自然保護活動など非営利目的であれば、誰でも自由に利用できます。



■日本野鳥の会 組織概要

組織名：公益財団法人 日本野鳥の会（会員・サポーター 約 5 万人）

代表者：理事長 遠藤孝一

所在地：〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

URL：<https://www.wbsj.org/>

■本件に関するお問い合わせ先

（公財）日本野鳥の会

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

担当：自然保護室 葉山政治／奴賀俊光／岡本裕子

電話：03-5436-2633 E-mail：ebirdjapan@wbsj.org